

(株)電算システム

岐阜市・総合ITサービス

従業員数／男性560名 女性224名 計784名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①制度改革による社員への子育て支援拡充
- ②労働時間削減によるワーク・ライフ・バランスの向上
- ③ウェルビーイング向上のための施策推進

家庭との両立へ環境と風土を構築

電算システムでは、ダイバーシティを重要な戦略の一つと位置付け、社員一人ひとりが働きがいを持ち、いきいきと活躍できる組織の実現を目指している。

子育て支援の取り組みとしては、育児短時間勤務制度を法定以上の小学校3年生まで取得が可能で、年5日の看護休暇も有給だ。また、子どもが病気の際や急な用事で利用できる育児サービスの補助も、2024年より福利厚生制度の一つとして新たに導入している。

さらに、子どもが生まれた全ての社員へ育児支援金56万円、出産祝金5万円を支給。育児参加への意識向上にもつながり、男性の育児休業や育児短時間勤務の取得推進を支援している。男性の育児休業取得率は、23年12月末時点で30・8%だったが、24年12月末時点で71・4%まで向上している。

加えて、働きやすい環境整備のために、テレワーク勤務制度(月10日まで)や、勤務時間の短縮(8時間から7.5時間)、フレックスタイム制

入社時点での有休付与などを実施。年次有給休暇は3年間で最大60日まで保有でき、病気や育児、介護などで長期休暇の取得も可能なため、安心して働ける環境を整えている。

労働時間も各部署が

削減に向けた対策を検討し、コンプライアンス委員会で共有するほか、処理の自動化にRPAを活用するなどの取り組みを実施。24年12月末時点で、時間外労働は平均7・98時間となっている。

宇佐美隆取締役執行役員は、「社員一人ひとりがいい会社と考えるような環境を整えていきたい」としている。



産後/パパ育児を取得した、管理本部経理部の長縄篤史係長は、「妻が帝王切開だったため、体調が回復するまで育児休業を2回に分けて取得できたことはありがたかった」と話す。



会社の女性活躍推進への取り組みが評価され、えるぼし認定を取得。2024年5月30日岐阜労働局にて、えるぼし認定通知書交付式に参加した宇佐美隆取締役執行役員。